

みずなら

別海町立上春列中学校
学校便り 8月号
平成28年 8月28日発行
発行責任者 校長 藤原秋彦

ボルトと「ゆきひかり」

校長 藤原秋彦

オリンピックの熱狂が過ぎ去り、9月からはパラリンピックが始まります。様々なハンディを抱える選手たちをテレビで見ているふと思ひ浮かぶのは、五輪3大会連続で3連覇を果たしたジャマイカのボルト選手と道産米の「ゆきひかり」のことです。

ボルト選手は、肩が大きく上下する独特のフォームで走ります。脊柱側湾症のために生まれつき背骨が曲がっていることが、その大きな原因なのだそうです。通常、短距離走では体幹を鍛えて体がぶれない走りを目指すのが常識ですが、ボルトの場合、背骨が不安定に揺れるために上体は大きくうねるように動きます。しかし、その不安定な動きが、爆発的な推進力を生み出す原動力にもなっているのだそうです。もし、ボルトあるいはその指導者が常識通りのフォームにこだわって、上体を安定させるためのトレーニングを優先させていたとしたら、今のボルトはなかったのかもしれない。

「ゆきひかり」は、「きらら 397」が登場するまで、道産米としてはかなりの売れ筋商品だったそうです。しかし、「きらら」他の道産ブランド米が流通するようになると、「冷めるとばさつく」など食味の問題で急速にシェアを落とします。ほとんど世間から忘れられた存在だったこの「ゆきひかり」が再び脚光を浴びることになったのは、「米アレルギー」を起こしにくいという特性のためでした。原因ははっきり特定されていないようですが、「米アレルギー」の症状は主にコシヒカリの品種改良から生まれた米を食べた時に出やすいといわれています。ただ、現在スーパーなどに並ぶブランド米はほとんどがコシヒカリー族。「あきたこまち」「ひとめぼれ」「きらら 397」の他、「もちもち感があっておいしい」と言われる有名どころは、ほとんどがコシヒカリー族と考えていいぐらいなのだそうです。一方で、冷めるとばさつく「ゆきひかり」は、コシヒカリの血を引いていません。世の中がコシヒカリー族だらけになっていく中で、一族ではなかったが故に多くのアレルギー患者を救うことになったのが「ゆきひかり」だったのです。また、別の角度から最近のコシヒカリー一辺倒に警鐘を鳴らす人もいます。コシヒカリーに強いダメージを与える病気などが発生した場合、国産米のほとんどが収穫できなくなる可能性があるというのです。「みんな同じ」がもつ怖さを教えてくれます。



学校という場所は、どちらかというと「足並みをそろえる」だとか「みんな同じように」だとかいうことを求める傾向の強いところですが、しかし、と言うかそれだからこそなのか、みんなと違うことがかえって強みとなったり、他の人にとって大切な存在になったりするという話を聞くと、なんだかうれしくて、ほっとした気持ちになります。

●△◆ 2学期前のウォームアップ…スキルアップ学習会 ◆▽●



16・17日の2日間、1・2年生を対象に「スキルアップサマーin 上春」を実施しました。今回の学習会では大学生ボランティア2名が参加し、子どもの学習を手伝いました（写真）。今回は台風で1日目をお休みにしましたが、多くの生徒が参加し、課題に取り組みました。大学生の感想には「子ども達がうなずいてくれたり、わかった様子を見せてくれたりなど、子ども達の温かい対応にも助けられていた気がします」とあり、短い期間でも互いにコミュニケーションをとろうとする様子が見え、この2日間、3年生は普通授業を実施しています。

●△◆ OB の力でキャリア教育…全校向け職業講話 ◆▽●

24日（水）に本校OBのNさん（〇〇〇〇勤務）とHさん（〇〇〇〇勤務）をお招きして、6時間目に職業講話を実施しました。

お話の内容は仕事に就いた動機ややりがい、忘れられないエピソード、後輩たちに伝えたいこと等でした。「毎日の積み重ねが大事」、「今を一生懸命生きること」といったメッセージがとても印象的でした。



《9月の行事予定》

日	曜	行 事	バス	日	曜	行 事	バス
1	木	北海道シェイクアウト、2年弁論	15:50	16	金	委員会	15:50
2	金	委員会、3年弁論、リンク運営委	15:50	17	土		
3	土	全日本少年野球大会予選①		18	日		
4	日	同②、プール最終日		19	月	敬老の日	
5	月	全校集会、着衣水泳、PTA 役員会	15:50	20	火	中間テスト①、バス乗車指導	15:50
6	火	陶芸教室、家庭学習推進週間	15:50	21	水	同②、職員会議	15:50
7	水	職場体験学習①、プール清掃	15:50	22	木	秋分の日	
8	木	同②、職員会議、白鳥号	15:50	23	金	委員会	15:50
9	金	委員会、陶芸教室	15:50	24	土		
10	土	チャレンジカップ野球大会①		25	日		
11	日	同②、町駅伝大会		26	月	一斉研（4時間授業）、ALT	13:05
12	月	スピーチ集会、ALT	15:50	27	火	学校便り発行、研修日	14:25
13	火	学校経営指導訪問	15:50	28	水	別海高校体験入学	15:50
14	水	研修日、3年学力テスト	15:50	29	木	校内弁論大会	15:50
15	木	弁当の日	15:50	30	金	委員会、社協福祉出前講座	15:50

毎月第1・3日曜は「ノーゲームデー」です

1 学期の学校評価について（お知らせ）

7月に実施した学校評価アンケートについて、結果と今後の取り組みの概要をお知らせします。
生徒・保護者・職員へのアンケート結果、ベスト3は次の通りです。

	その通りと思うところ	そうっていないと思うところ
生徒	部活動に一生懸命取り組んでいる。（取り組んだ。）	失敗を恐れず、何事も進んで取り組もうとしている。
	学校の部活動は充実している。	地域の行事に積極的に参加するようにしている。
	先生たちは「わかりやすい授業」を工夫している。	学校が安心して過ごせる場になっている。
保護者	部活動に一生懸命取り組んでいる。（取り組んだ。）	学校のお便りはその日のうちに受け取っている。
	先生たちは生徒が活躍できる場をつくろうと努力している。	以前より生活習慣がよくなってきた。（早寝・早起き・テレビ・ゲーム等。）
	学校行事は充実した内容になっている。	失敗を恐れず、何事も進んで取り組もうとしている。
職員	部活動に一生懸命取り組んでいる。（取り組んだ。）	失敗を恐れず、何事も進んで取り組もうとしている。
	生徒会や委員会活動、学校行事に一生懸命取り組んでいる。	学校環境が整備され、学習に取り組みやすい環境である。
	「わかりやすい授業」を工夫し、学力向上に努めている。	挨拶や返事がしっかりできている。

【考察】

・学習面について

授業について、生徒や保護者は一定の成果を認めつつも、同程度の不満も抱えています。また、家庭学習は、生徒は「以前よりよくなった」と回答していますが、保護者は「なっていない」との回答です。生活習慣チェック等ではどの学年も休日は1時間前後の家庭学習がされているようです。不十分ではありますが、以前よりは改善しています。また、2極化の傾向が結果に反映しているとも受け取れます。

・生活面について

「失敗を恐れず…」という部分が、三者共にランクインしています。全国学力・学習状況調査でも同様の結果が出ていました。失敗が出来ない、許されない世相を反映しているとも言えます。自他共に寛容の精神で、チャレンジを支援する姿勢が必要と感じます。

また、生徒の「学校が安心して過ごせる場になっている。」の項目に、否定的な結果が出ました。三者でとらえ方も異なるようです。



・部活動について

三者共に「子どもは頑張っている」との評価ですが、一方で、保護者は「学校の取組が充実していない」と回答しています。次年度以降で部活数を削減していくことも大きく影響していると思われます。

【今後の取組】

・学習面での取り組みは既に進行中であり、計画に沿って進めて参ります。また、9月末迄には全国学力・学習状況調査の結果についてもお知らせする予定です。

・今後特に重点的に取り組む部分を「学校が安心して過ごせる場になっている。」という部分に絞ります。8月22日の全校集会の中で、アンケートの結果も交え、生徒に伝えました。2学期中に生徒と教師が協力して、少しでも「学校が安心して過ごせる場になる」ように取り組んで参ります。今後は途中経過も含め、学校便り等で取り組みの内容をお知らせして参ります。

平成28年8月28日発行

